



各 位

2025年11月27日

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 谷川 直哉
(コード番号: 2743 スタンダード)
問い合わせ 取締役管理本部長 柳世 和大
<https://pixel-cz.co.jp/contact>

(訂正)「2025年12月期第3四半期決算短信の開示が四半期末後45日を超えることに関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2025年11月14日「2025年12月期第3四半期決算短信の開示が四半期末後45日を超えることに関するお知らせ」において開示した内容につきまして一部記載内容に訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

当社の2025年12月期第3四半期決算短信の開示延期につきましては、当社の見解に基づくものであり、監査法人アリア（以下、アリアという。）との間に見解の相違があったものの、アリアの意見ややり取りに関する説明に関する記載が不足していたことにより、以下の通り訂正させていただきます。

2. 訂正の箇所

【訂正前】

1. 延期の理由

2025年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）につきまして、当社は監査法人からの要求に基づき監査資料の提出を進めてまいりましたが、当社決算発表時の直前での追加資料の徴求をされる等、適切な監査を受けることが出来おりません。当該資料の準備・収集には一定の時間を要することから、本日時点での当社として対応することが困難な状況となっております。

このため、当社としましては、監査資料を引き続き収集・整理を進め、当社の事業に対する理解の深度を高めていただき、監査法人の理解を得ることができるまでは、2025年11月14日に予定しておりました決算発表を行うことは困難であると、本日開催の取締役会において判断いたしました。現段階で2025年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）の公表を行うことが出来ません。

【訂正後】

1. 延期の理由

当社は、アリアから2025年12月期第2四半期からデータセンター事業についての減損の可能性および特定取引の実在性の指摘を受けておりました。2025年12月期第3四半期監査において、アリアより資料提出要求があった11月5日から、2025年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）につきまして、アリアからの要求に基づき監査資料の提出を適宜適切に進めてまいりました。

決算発表のわずか3日前である11月11日に突然、アリアより取引先における資金の流れと経済合理性に

についての疑義が提示されました。それを受け、当日にアリアと当社経営者とのミーティング、監査等委員会とのミーティングを実施し、監査に必要な資料の確認を行い、11月12日～14日にかけて当社は取引先に資料の依頼を行い、アリアへ提出を行っておりました。しかしながら、アリアより当社決算発表の直前にも当該取引先の保管する取引資料など、当社に処分権限がなく、当該取引先自身も守秘義務を負っている可能性が極めて高い資料を追加資料として徴求をされ、当該資料の準備・収集には一定の時間を要することから、監査レビューを延期してもらいたい旨、伝えておりましたが、代表者への問い合わせについても折り返しもなく全く対応してもらえず、資料の提出がないこと、また、社内調査委員会もしくは第三者委員会などの設置を速やかに実施し、調査に着手する姿勢が見られないことを理由に、アリアからは11月14日に監査意見不表明の結論をメールにて提示されました。しかしながら、当社取締役会では、11月14日13時に2025年12月期第3四半期決算の決議を一度取ったものの、監査資料の入手について追加の時間を確保できれば対応が可能であると判断し、まずはアリアとの協議を継続すべく、同日15時53分にアリア代表者の携帯宛に折り返しを求める連絡を行い、留守番電話にもその旨を録音いたしました。しかし、アリア側からは一切の回答が得られませんでした。こうした状況を踏まえ、当社は11月14日17時に再度取締役会を開催し、当社として提出可能な資料の範囲を超える追加要求が同日11時17分に要求されたこと、ならびにアリアからの連絡不通の状態が続いたこと、当該取引先からの協力について好意的な回答をいただいたことから社内調査委員会もしくは第三者委員会などをすぐに設置して調査に着手する段階ではないと考えていたから、アリアによる監査対応は不当だと判断し、結論不表明のレビュー報告書を提示されていたものの、アリアの合意を得られない中ではありましたが、2025年11月14日に予定しておりました決算発表の延期を行うことを決定いたしました。

以上